

「種を蒔く人のたとえ」 共観福音書比較

マタイによる福音書 13 章	マルコによる福音書 4 章	ルカによる福音書 8 章
<p>◆「種を蒔く人」のたとえ</p> <p>1 その日、イエスは家を出て、湖のほとりに座っておられた。</p> <p>2 すると、大勢の群衆がそばに集まって来たので、イエスは舟に乗って腰を下ろされた。群衆は皆岸辺に立っていた。</p> <p>3 イエスはたとえを用いて彼らに多くのことを語られた。</p> <p>「種を蒔く人が種蒔きに出て行った。</p> <p>4 蒔いている間に、ある種は道端に落ち、鳥が来て食べてしまった。</p> <p>5 ほかの種は、石だらけで土の少ない所に落ち、そこは土が浅いのですぐ芽を出した。</p> <p>6 しかし、日が昇ると焼けて、根がないために枯れてしまった。</p> <p>7 ほかの種は茨の間に落ち、茨が伸びてそれをふさいでしまった。</p> <p>8 ところが、ほかの種は、良い土地に落ち、実を結んで、あるものは百倍、あるものは六十倍、あるものは三十倍にもなった。</p> <p>9 耳のある者は聞きなさい。」</p>	<p>◆「種を蒔く人」のたとえ</p> <p>1 イエスは、再び湖のほとりで教え始められた。</p> <p>おびたしい群衆が、そばに集まって来た。そこで、イエスは舟に乗って腰を下ろし、湖の上におられたが、群衆は皆、湖畔にいた。</p> <p>2 イエスはたとえでいろいろと教えられ、その中で次のように言われた。</p> <p>3 「よく聞きなさい。種を蒔く人が種蒔きに出て行った。</p> <p>4 蒔いている間に、ある種は道端に落ち、鳥が来て食べてしまった。</p> <p>5 ほかの種は、石だらけで土の少ない所に落ち、そこは土が浅いのですぐ芽を出した。</p> <p>6 しかし、日が昇ると焼けて、根がないために枯れてしまった。</p> <p>7 ほかの種は茨の中に落ちた。すると茨が伸びて覆いふさいだので、実を結ばなかった。</p> <p>8 また、ほかの種は良い土地に落ち、芽生え、育つて実を結び、あるものは三十倍、あるものは六十倍、あるものは百倍にもなった。」</p> <p>9 そして、「聞く耳のある者は聞きなさい」と言われた。</p>	<p>◆「種を蒔く人」のたとえ</p> <p>4 大勢の群衆が集まり、方々の町から人々がそばに来たので、</p> <p>イエスはたとえを用いてお話しになった。</p> <p>5 「種を蒔く人が種蒔きに出て行った。蒔いている間に、ある種は道端に落ち、人に踏みつけられ、空の鳥が食べてしまった。</p> <p>6 ほかの種は石地に落ち、芽は出たが、水気がないので枯れてしまった。</p> <p>7 ほかの種は茨の中に落ち、茨も一緒に伸びて、押しつぶされてしまった。</p> <p>8 また、ほかの種は良い土地に落ち、生え出て、百倍の実を結んだ。」</p> <p>イエスはこのように話して、「聞く耳のある者は聞きなさい」と大声で言われた。</p>
<p>◆たとえを用いて話す理由</p> <p>10 弟子たちはイエスに近寄って、「なぜ、あの人たちにはたとえを用いてお話しになるのですか」と言った。</p> <p>11 イエスはお答えになった。「あなたがたには天の国の秘密を悟ることが許されているが、あの人たちには許されていないからである。</p> <p>12 持っている人は更に与えられて豊かになるが、持っていない人は持っているものまでも取り上げられる。</p> <p>13 だから、彼らにはたとえを用いて話すのだ。見ても見えず、聞いても聞かず、理解できないからである。</p> <p>14 イザヤの預言は、彼らによって実現した。『あなたたちは聞くには聞かぬが、決して理解せず、見るには見るが、決して認めない。</p> <p>15 この民の心は鈍り、／耳は遠くなり、／目は閉じてしまった。こうして、彼らは目で見ることなく、／耳で聞くことなく、／心で理解せず、悔い改めない。わたしは彼らをいやさない。』</p> <p>16 しかし、あなたがたの目は見えているから幸いだ。あなたがたの耳は聞いているから幸いだ。</p> <p>17 はっきり言うておく。多くの預言者や正しい人たちは、あなたがたが見ているものを見たかったが、見ることができず、あなたがたが聞いているものを聞きたかったが、聞けなかったのである。」</p>	<p>◆たとえを用いて話す理由</p> <p>10 イエスがひとりになられたとき、十二人と一緒にイエスの周りにいた人たちがたとえについて尋ねた。</p> <p>11 そこで、イエスは言われた。「あなたがたには神の国の秘密が打ち明けられているが、外の人々には、すべてがたとえで示される。(25節)</p> <p>12 それは、／『彼らが見るには見るが、認めず、／聞くには聞かぬが、理解できず、／こうして、立ち帰って赦されることがない。』／ようになるためである。」</p>	<p>◆たとえを用いて話す理由</p> <p>9 弟子たちは、このたとえはどんな意味かと尋ねた。</p> <p>10 イエスは言われた。「あなたがたには神の国の秘密を悟ることが許されているが、他の人々にはたとえを用いて話すのだ。(18節)</p> <p>それは、／『彼らが見ても見えず、／聞いても理解できない。』／ようになるためである。」</p>
<p>◆「種を蒔く人」のたとえの説明</p> <p>18 「だから、種を蒔く人のたとえを聞きなさい。</p> <p>19 だれでも御国の言葉を聞いて悟らなければ、悪い者が来て、心の中に蒔かれたものを奪い取る。道端に蒔かれたものとは、こういう人である。</p> <p>20 石だらけの所に蒔かれたものとは、御言葉を聞いて、すぐ喜んで受け入れるが、</p> <p>21 自分には根がないので、しばらくは続いても、御言葉のために艱難や迫害が起こると、すぐにつまづいてしまう人である。</p> <p>22 茨の中に蒔かれたものとは、御言葉を聞くが、世の思い煩いや富の誘惑が御言葉を覆いふさいで、実らない人である。</p> <p>23 良い土地に蒔かれたものとは、御言葉を聞いて悟る人であり、あるものは百倍、あるものは六十倍、あるものは三十倍の実を結ぶのである。」</p>	<p>◆「種を蒔く人」のたとえの説明</p> <p>13 また、イエスは言われた。「このたとえが分からないのか。では、どうしてほかのたとえが理解できるだろうか。</p> <p>14 種を蒔く人は、神の言葉を蒔くのである。</p> <p>15 道端のものとは、こういう人たちである。そこに御言葉が蒔かれ、それを聞いても、すぐにサタンが来て、彼らに蒔かれた御言葉を奪い去る。</p> <p>16 石だらけの所に蒔かれるものとは、こういう人たちである。御言葉を聞くがすぐ喜んで受け入れるが、</p> <p>17 自分には根がないので、しばらくは続いても、後で御言葉のために艱難や迫害が起こると、すぐにつまづいてしまう。</p> <p>18 また、ほかの人たちは茨の中に蒔かれるものである。この人たちは御言葉を聞くが、</p> <p>19 この世の思い煩いや富の誘惑、その他いろいろな欲望が心に入り込み、御言葉を覆いふさいで実らない。</p> <p>20 良い土地に蒔かれたものとは、御言葉を聞いて受け入れる人たちであり、ある者は三十倍、ある者は六十倍、ある者は百倍の実を結ぶのである。」</p>	<p>◆「種を蒔く人」のたとえの説明</p> <p>11 「このたとえの意味はこうである。種は神の言葉である。</p> <p>12 道端のものとは、御言葉を聞くが、信じて救われることのないように、後から悪魔が来て、その心から御言葉を奪い去る人たちである。</p> <p>13 石地のものとは、御言葉を聞くが喜んで受け入れるが、根がないので、しばらくは信じて、試練に遭うと身を引いてしまう人たちのことである。</p> <p>14 そして、茨の中に落ちたのは、御言葉を聞くが、途中で人生の思い煩いや富や快楽に覆いふさがれて、実が熟するまでに至らない人たちである。</p> <p>15 良い土地に落ちたのは、立派な善い心で御言葉を聞き、よく守り、忍耐して実を結ぶ人たちである。」</p>